

令和5年10月12日

J Aたがわ麦大豆部会員 殿
(麦生産者 殿)

J Aたがわ麦大豆部会
部会長 山口 忠秋

麦栽培における栽培資料及び資材注文書の配布について

いよいよ麦の播種時期が近づいていますが、麦の増収・所得向上の第一歩は適期播種からです。令和6年産麦づくりも気合いを入れて頑張りましょう。

下記の通り栽培に関する資料を送付しますので、熟読をお願いします。

尚、麦大豆部会のLINEで日頃の情報を送っています。加入は別紙JAたがわ麦大豆部会「ライングループ」を参照願います。

また、JA たがわホームページ「営農情報」に栽培こよみ栽培講習会資料などアップしていますので閲覧ください。

記

1 配布資料等

- ①令和6年産麦栽培こよみ
- ②麦前播種前研修会
- ③令和5年産麦成績表
- ④資材注文書

JA たがわ麦大豆部会に関する 情報は・・・

スマートフォンの「ライン」及び JA たがわホームページ「営農情報」にも掲載していますので閲覧をお願いいたします。栽培講習会資料など（PDF）をアップしています。



※この QR コードをカメラで読み取って頂いたら登録できます！！

- この「ライングループ」はスマートフォンをお使いの方ならどなたでもご利用できます。
※ JA たがわライングループに加入することによる料金等は発生いたしません。
- 麦大豆生産に関するきめ細かな情報（病害虫情報、管理情報など）を早急にグループ内で共有出来ます。

R6年産麦の播種前準備と適期播種について

J Aたがわ

田川普及指導センター

福岡県内では平成30年産から5年連続で播種前契約数量を達成しています。またJAたがわ管内における硬質小麦のタンパク質含有率は県内トップとなっており、高品質麦の生産が続いています。今後も、以下の播種前準備と適期播種を行い、更なる生産の安定と品質向上に努めましょう。

◎播種前準備

1. 土壌改良資材の投入

麦類は畑作物で、水稻とは栽培に適する pH が異なります。**麦類の適正土壌 pH は pH6.0~6.5 です。**通常の水田では、pH5.5 程度のは場が見受けられます。麦類は土壌 pH が低いほど、必要な養分が吸収されにくくなり、収量・品質が著しく低下します(表1 参照)。栽培ごよみを参考に、**100~200kg/10a の石灰質資材(ケイカル・ミネラル G・粒状苦土石灰等)を施用しましょう。**

有機質資材について、土壌物理性の向上には、わら・牛ふん堆肥が適しています。また、豚ふんは土壌物理性の改善効果に加え、肥料的効果もあります。鶏ふんは土壌物理性の改善効果は小さく、肥料的効果が中心になります(表2 参照)。例として、**乾燥豚ふんは 0.2t/10a、乾燥鶏ふんは 0.15t/10a を目安に投入しましょう。**ただし、この場合は土壌条件や土壌分析の結果に応じて、基肥を減らしましょう。

表1 土壌 pH と麦の収量指数

	土壌pH				
	4.5	5	5.7	6.8	7.5
小麦の収量指数	68	76	89	100	99

表2 有機物の種類と施用効果

種類	肥料的効果			土壌物理性の改善効果
	窒素	リン酸	カリ	
稲わら・麦わら	無	小	大	大
牛ふん堆肥	小~中	大	大	大
豚ふん堆肥	中	大	大	中
鶏ふん堆肥	中~大	大	大	小

2. 排水対策

麦類は土壌水分の多い環境が苦手な作物です。特に前作が水稻の場合は、排水性が悪いいため、排水対策をしっかりと行いましょう。

地表排水(畝立播種・額縁明きよ)と地下排水(本暗きよ・弾丸暗きよ)を組み合わせましょう(写真1 参照)。



写真1 額縁明きよ(左)と弾丸暗きよ

本年度は暖冬予想！！→→

早播き厳禁！ 早く播いても増収しません！

◎適期播種

極端な早播きは倒伏程度が増すなど、減収の原因になります(図1)。11月20日～25日頃を中心に適期播種を行いましょう。また、適期播種が確実に完了できるよう、前述の播種前準備は早めに済ませましょう。



図1 播種時期による収量と倒伏程度

小麦・大麦の播種適期は以下の通りです。

小麦:11月15日～30日

大麦 :11月25日～12月5日

・早播き

生育前半に過繁茂になりやすく、生育後半に萎凋し**枯れ熟れや倒伏により減収**しやすくなります。また、茎立期～幼穂形成期が前進するため**凍霜害のリスクが高まります**。

・遅播き

十分な穂数が確保できず減収しやすくなります。また、登熟がおくれるため、収穫が梅雨と重なると倒伏・穂発芽等の品質低下のリスクも高まります。

やむを得ず、遅播きになった場合には、播種量を2～3割増やして、苗立数の確保に努めましょう。また、除草作業を優先する結果、播種が遅れてしまうほ場が散見されます。土壌処理除草剤*は出芽後でも散布可能なので、**播種作業を優先しましょう。**

※リベレーターフロアブルは麦3葉期まで、リベレーターGは麦2葉期まで処理可能。

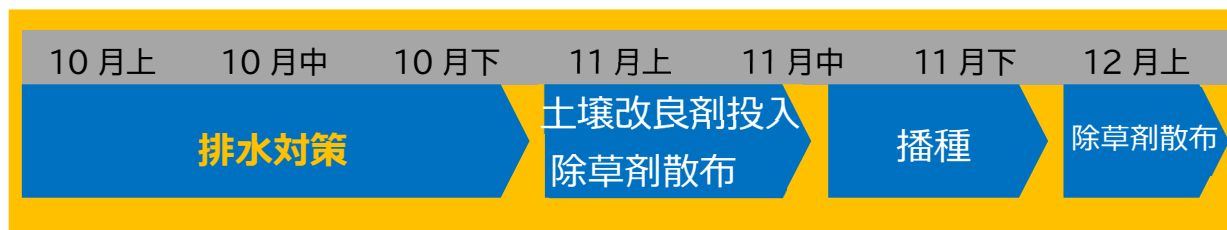


図2 適期播種に向けた作業工程



月・旬	11			12			1			2			3			4			5			6																				
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																		
生育	出芽期						有効分げつ期						無効分げつ期						莖立期						出穂期						登熟期						成熟期					
主な作業	<p> </p> <p> 土壌改良材・弾丸の暗渠 種子消毒・基肥・播種初期除草剤 小麦播種適期 大麦播種適期 麦踏み 麦踏み・土入れは土壌が乾いているときに実施 追肥① (中期除草剤) 追肥② 麦踏み 追土肥入 畦溝さらえ・排水口の整備 種蒔期追肥 (小麦のみ) 赤かび病防除① 赤かび病防除② 雑草抜き (カラスノエンドウ他) 収穫 (大麦) 収穫 (小麦) </p>																																									
	<p>赤かび粒混入限度は0.0%</p>																																									

1. 排水対策(良い麦は排水対策から)

麦づくりの基本は排水対策

- ① 播種前に弾丸暗渠、ほ場周囲の明渠施工。
- ② 部分浅耕播種、又は畝立て板装着による畝立て播種。
- ③ 播種後、土入れ作業の後は手作業で溝を切り、排水口につなぐ。
- ④ 雨の後は鍬を持って田んぼを見回り溝さらえ。水たまりを作らない。

2. 土壌改良材の施用

○麦類(特に大麦)は酸性に弱いので、
 土壌pHを6.0~6.5に矯正しましょう。
ケイカル・ミネラルG・粒状苦土石灰 100~200kg/10a

3. 播種量および播種時期

品 種	播種適期	播種量 (10a当り)	晩播限界	備 考
チクゴイズミ(小麦)	11月15日~30日	6~7kg	12月15日	遅播の場合は播種量を2~3割増やす。
ちくしW2号(小麦)				
はるか二条(大麦)	11月25日~12月5日	7~8kg	12月20日	

※部分浅耕播種、又は畝立てドリル播き、覆土3cmを基本とする。
 ※大豆後作は出芽良好となるので、播きすぎない。

4. 種子消毒

対象病害虫	農薬名	処理方法
斑葉病・網斑病(大麦) なまぐさ黒穂病	キヒゲンR-2フロアブル	種子1kgに対して、原液20mlをポリ袋に入れて塗沫処理する。又は、ポリ容器に入れてかき混ぜる。
【小麦のみ】 ヤキシロヒムシ(小麦)	クルーザーFS30	種子10kgに対して、薬剤60mlをポリ袋に入れて塗沫処理する。または、ポリ容器等に入れてかき混ぜる。

5. 施肥基準(チクゴイズミ・ちくしW2号(小麦)及びはるか二条(大麦))

麦種	前作物	基肥		追肥		種蒔期追肥
		444	444	1	2	
小麦	水稲又は麦	45kg	30kg	追肥Ⅰ 1月中・下旬 【みあい化成ベスト444】 または NK化成2号	追肥Ⅱ 2月下旬~3月上旬 【みあい化成ベスト444】 または NK化成2号	【チクゴイズミ】 硫酸10kgを株元施用 または 尿素5kgを赤かび病防除(1回目)液剤に添加して葉面散布 【ちくしW2号】 硫酸25kgを株元施用 または 尿素10kgを赤かび病防除(1回目)5kg、2回目5kg)液剤に添加して葉面散布 【はるか二条】 -
	大豆	20kg	15kg			
大麦	水稲又は麦	35kg	-	-	-	-
	大豆	20kg	-	-	-	-

- ※土壌分析を行い、適正施肥に努めましょう。
- ※稲わらなどの有機物の銜き込みを行いましょう。
- ※地力増強のために堆肥を投入する場合は、基肥を2~3割減らしましょう。(10a当り堆肥投入量の目安:牛ふん2t、豚ふん0.2t、鶏ふん0.15t)
- ※追肥後は、肥効を高めるため速やかに土入れを行いましょう。
- ※追肥Ⅱは、生育旺盛で葉色が濃い場合は、減肥しましょう。
- ※小麦タンパク含有率向上のため、生育状況に応じて、種蒔期追肥(4月中旬)を実施しましょう。(大麦の種蒔期追肥は不要)
- ※種蒔期追肥に尿素を加用して葉面散布を行った場合、小麦の穂やノゲが肥料やけにより褐色に変色し(枯れます)が、麦の品質には影響ありません。

超えるぞ! 県平均!!

【JAたがわ麦大豆部会目標】
大麦: 平均反収300kg

**小麦: 平均反収400kg、
 タンパク含量10%
 (ラー麦12%)**

6. 雑草防除基準

(10a当り)

播種期	薬剤名	処理時期	使用量	希釈水量	備考
					備考
播種前	ブリグロックスL	播種前又は播種後出芽前	600~1000ml	100~150ℓ	展着剤を加用する場合は、非イオン系展着剤を使用する。
	ラウンドアップマックスロード	(雑草茎葉散布)	200~500ml	50~100ℓ	展着剤加用の必要はない。
初期	リベレーターフロアブル	播種後~麦3葉期(リベレーターGは麦2葉期)(雑草発生前~イネ科雑草1葉期まで)	60~80ml	100ℓ	除草効果を高めるため、播種前の碎土や整地を丁寧に行う。液剤の場合、土壌が乾燥している場合は希釈水量を多くする。いずれの剤もハーモニー抵抗性スズメノテウチに有効。雑草が出芽すると効果があるので播種後早めに散布する。
	リベレーターG		4~5kg	-	
生育中期	トレファンソイド乳剤	生育期(雑草発生前)	200~300ml	100ℓ	ネズミムギやカラスノエンドウ対策として、発生の1月下旬~2月上旬、土入れ後に土壌処理除草剤として散布する。
	トレファンソイド粒剤2.5	但し、収穫45日前まで	4~5kg	-	
	ハーモニーDF (イネ科および広葉)	麦3葉期~節間伸長前まで	5~10g	50~100ℓ	スズメノテウチは5葉期まで。カズノコグサは10g散布で、1~3葉期まで。タネ類に効果あり。一年生及び多年生広葉雑草。ヤエムグラには効果が無い。2月上旬から3月上旬の暖かい日に処理する。
	MCPソーダ塩 (広葉のみ)	幼穂形成期(目安:莖立前)但し、収穫45日前まで	300g	100ℓ	
	バサグラン液剤 (広葉のみ)	小麦収穫45日前まで(目安:4月上旬まで)大麦収穫90日前まで(目安:2月中旬まで)	100~200ml	70~100ℓ	広葉雑草3~6葉期。(トゲキツネノボタン(4月頃)に黄色の花が咲く広葉雑草)に有効。

- ※ハーモニー抵抗性スズメノテウチが発生しているほ場では、播種後に初期除草剤を散布し、ハーモニーの**一発処理は行わない**。
- ※ハーモニー75DF水和剤は、野菜や豆類等に薬害を生じるので注意。使用後のタンク及び散布器具は、消石灰500倍液を10分間循環させた後、20分間放置し、排水後清水で洗浄する。
- ※MCPソーダ塩はホルモン型。広葉作物に薬害を生じるので注意。使用後のタンク及び散布器具は3回以上洗浄する。

7. 赤かび病防除

薬剤、麦種により使用可能な回数、収穫前日数が異なるので注意

薬剤名	希釈倍率	散布量 /10a	小麦		大麦	
			出穂後回数	収穫前日数	出穂後回数	収穫前日数
トップジンM水和剤	1,000~1,500倍	60~150ℓ	2回まで	14日前まで	1回まで	30日前まで
トップジンM粉剤DL	-	4kg	2回まで	14日前まで	1回まで	14日前まで
シルバキュアフロアブル	2,000倍	60~150ℓ	2回まで	7日前まで	2回まで	14日前まで

※希釈倍率 1,000倍...水100ℓ(100g/ml) 2,000倍...水100ℓ(50g/ml)

※ 防除適期

小麦

1回目: **開花期~開花最盛期**
(出穂7~10日後頃*)

2回目: 1回目の7~10日後

大麦

1回目: **蒴殻抽出期**
(出穂12~15日後頃*)

2回目: 1回目の7~10日後(赤かび病の多発が予想される場合)

*出穂後日数は目安であり、天候により前後するので注意。

8. 収穫

- 収穫前にカラスノエンドウ等、異物混入の原因となる雑草を抜き取る。
- 水分25%~20%の間に収穫することが望ましい。(特に大麦は水分25%以下で穂首が8割以上曲がり、穀粒が黄白色になって収穫開始。)
- 製品麦(乾燥調整済み)の仕上水分は11.5%。

8. 品種特性

(福岡県における主要農作物の種特性(R4.6月より))

品 種	出穂期 月・日	成熟期 月・日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	収量 kg/10a	耐倒伏性	赤かび病
チクゴイズミ(小麦)	4.12	6.1	88	8.5	537	562	やや強	やや強
ちくしW2号(小麦)	4.11	6.1	84	9.2	482	497	強	やや弱
はるか二条(大麦)	4.7	5.22	79	6.5	654	572	強	中

※播種期は、チクゴイズミ、ちくしW2号: 11月20~25日前後、はるか二条: 11月19日~12月3日。農薬はR4.9月7日現在の登録に基づいて記載しています。

購買品申込書

部会名 麦作部会

組合員コード 申込No 部会CD 61

氏名

貯金引落決済日 令和 6年 8月 20日

作付予定面積 a

行No	品名	容量	摘要	当用金額	注文数量	行No	品名	容量	摘要	当用金額	注文数量
				予約金額						予約金額	
1	くみあい化成ベスト444号	20kg	基肥 N14 P14 K14	3,080		19	ラウンドアップマックスロード	20L	播種前除草剤	52,700	
				2,987					200~500ml/10a	49,000	
2	ケイカル	20kg	土壌改良材(播種前前日まで)	710		20	ラウンドアップマックスロード	200L	播種前除草剤	581,100	
			10a:100~200kg	688					200~500ml/10a	358,000	
3	ケイカル	200kg	土壌改良材(播種前前日まで)	6,730		21	リベレーターフロアブル	500ml	初期除草剤	12,800	
			10a:100~200kg	6,528					60~80ml/10a	12,000	
4	ミネラルG(粒)	20kg	土壌改良材(播種前前日まで)	890		22	リベレーターフロアブル	2L	初期除草剤	45,500	
			10a:100~200kg	863					60~80ml/10a	42,770	
5	粒状苦土石灰	20kg	土壌改良材(播種前前日まで)	650		23	リベレーターG	3kg	初期除草剤	2,700	
			10a:100~200kg	630					3~4kg/10a	2,619	
6	粒状苦土石灰	200kg	土壌改良材(播種前前日まで)	6,400		24	トレファノサイド乳剤	500ml	生育中期除草剤	2,620	
			10a:100~200kg	6,208					200~300ml/10a	2,541	
7	NK化成2号	20kg	N21% 補足追肥用	2,780		25	トレファノサイド乳剤	2L	生育中期除草剤	10,500	
				2,696					200~300ml/10a	10,185	
8	硫安	20kg	N21	1,680		26	トレファノサイド乳剤	5L	生育中期除草剤	26,160	
				1,629					200~300ml/10a	25,375	
9	クルーザーFS30	250ml	ヤギシロトビムシ	13,260		27	トレファノサイド粒剤2.5	3kg	生育中期除草剤	1,900	
			種子10kg/60ml	12,862					4~5kg/10a	1,843	
10	トリフミン水和剤	500g	種子消毒 種子1kg当り5g	7,715		28	トレファノサイド粒剤2.5	10kg	生育中期除草剤	5,590	
				7,483					4~5kg/10a	5,422	
11	キヒゲンR-2フロアブル	200ml	種子消毒 種子1kg当り20ml	1,540		29	MCPソーダ塩	300ml	生育中期除草剤	540	
				1,493					300ml/10a	523	
12	キヒゲンR-2フロアブル	1L	種子消毒 種子1kg当り20ml	7,420		30	MCPソーダ塩	1.5 L	生育中期除草剤	2,470	
				7,197					300ml/10a	2,395	
13	プリグロックスL	1L	播種前除草剤	2,255		31	ハーモニー75DF	10g	生育中期除草剤	3,300	
			600~1000ml/10a	2,187					5~10g/10a	3,201	
14	プリグロックスL	5L	播種前除草剤	10,970		32	ハーモニー洗浄剤	100g	洗浄剤	230	
			600~1000ml/10a	10,640						220	
15	ラウンドアップマックスロード	500ml	播種前除草剤	2,170		33	バサグラン液剤	500ml	生育中期除草剤	2,320	
			200~500ml/10a	2,104						2,250	
16	ラウンドアップマックスロード	1L	播種前除草剤	3,980		34	マイリノー	500ml	展着剤	690	
			200~500ml/10a	3,860						669	
17	ラウンドアップマックスロード	2L	播種前除草剤	7,730		35	クサリノー10	500ml	除草剤用展着剤	905	
			200~500ml/10a	7,498						877	
18	ラウンドアップマックスロード	5.5L	播種前除草剤	15,575		36	※小麦種子	1kg	チクゴイヅミ	※405	
			200~500ml/10a	15,107						※392	
						37	※大麦種子【大麦】	1kg	はるか二条	※480	
										※465	

1. 申込書のメ切日は 5年 10月 25日迄とします。
2. 配達予定日は 5年 11月上旬からです。尚、配達日は前後する事があります。
3. 予約注文の為、メ切後の申込は当用価格となります。

※赤カビ病防除、穂揃い期追肥は3月頃に注文書を配布します。

※種子の金額につきましては参考価格としまして昨年の価格を載せています。

ご記入いただいた個人情報は申込商品の受付け、注文品等の配達・配送その他契約の締結・履行、費用・代金の請求・決済、当組合の提供する商品・サービスに関する各種の情報のご提供等に利用します。

令和5年産麦 実績表

●チクゴイズミ・シロガネコムギ(試験)

地区	生産(出荷)者数	出荷数量(kg)	生産面積(a)	反収(kg/10a)	タンパク質(%)	上段:反収範囲 下段:タンパク値範囲
大任	2	15,083	449	335	8.5	318-336 8.5-9.7
川崎	2	3,718	114	326	8.6	306-330 8.6-8.6
伊田	3	42,783	1,368	312	9.9	248-337 8.3-10.8
後藤寺	5	115,375	3,291	350	9.1	260-489 8.1-10.4
猪位金	8	114,248	3,931	290	8.6	126-398 7.9-10.3
方城	23	283,141	9,019	313	9.9	121-433 8.2-12.6
金田	31	308,001	8,947	344	9.6	178-481 7.5-11.6
赤池	18	397,995	10,065	395	9.7	156-503 8.3-12.5
糸田	21	241,523	6,343	380	9.3	202-457 8.3-10.3
金川	8	107,435	3,523	304	9.6	125-531 8.4-11.3
添田	4	75,723	4,653	162	9.1	90-304 8.9-9.3
高野	1	39,875	793	502	9.6	-
赤	1	13,312	1,047	127	8.4	-
方城(シロガネ)	2	4,980	123	403	11.4	353-430 10.8-12.8
集計(平均)	129	1,763,192	53,666	329	9.5	タンパク含有量 基準値 9.7~11.3%
福岡県		19,104t	5,063ha	377.3	9.0	
			県対比	87.1%	105.6%	
部会最高値				531	12.8	400kg/10a超 29件
目標		2,146,640		400	11.3	
達成率				82.1%	84.1%	

●硬質小麦(ちくしW2号・はる風ふわり)

地区	生産(出荷)者数	出荷数量(kg)	生産面積(a)	反収(kg/10a)	タンパク質(%)	上段:反収範囲 下段:タンパク値範囲
方城(W2号)	15	226,013	6,111	369	12.8	306-476 10.3-14.2
金田(はる風)	3	24,086	625	385	13.1	318-457 12.5-13.6
方城(はる風)	1	17,376	467	371	13.1	
集計(平均)	19	267,475	7,203	371	12.9	タンパク含有量 基準値 11.5~14.0%
福岡県		7,368t	1,730ha	425.9	11.8	
			県対比	87.2%	109.3%	
部会最高値				476	14.2	400kg/10a超6件
目標		288,120		400	14.0	
達成率				92.8%	92.1%	

●大麦(はるか2条)

地区	生産(出荷)者数	出荷数量(kg)	生産面積(a)	反収(kg/10a)	-	反収範囲
伊田	2	36,482	1,165	313		281-389
猪位金	2	21,141	865	244		236-245
方城	1	43,007	1,044	411		
赤池	3	52,506	1,596	328		239-418
集計(平均)	8	153,136	4,670	328		
福岡県		3,014t	753ha	400.3		
			県対比	81.9%		
部会最高値				418	-	
目標		140,100		300		
達成率				109.3%		

※面積は農業共済組合の届け出データ他